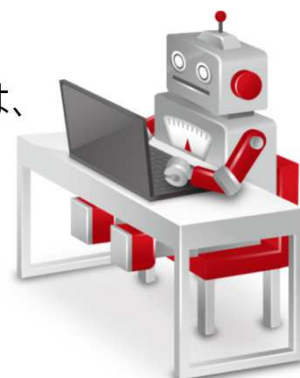


RPAで“働き方改革” はじめるなら



WinActor

RPA (Robotics Process Automation) とは、
人手で行っていたPC操作業務を、ソフトウェアロボットが
代行し自動化する手法です。
日常のPC操作は自動化して業務効率化を図り、
私たちは創造的な仕事にシフトしませんか。



業務部門 で操作可能

部品を**ドラッグ&ドロップ**
するだけ！難しいプログラミング不要
でロボット作成が可能です。
NTT研究所が開発したため
日本語で利用可能。

営業日判定、Excel操作、
画面上の情報取得、ファイル監視など
ロボット作成を容易にする
ライブラリが豊富にそろっています。

利用者の声で作った！ 豊富なライブラリ



持続可能 なRPAを支援

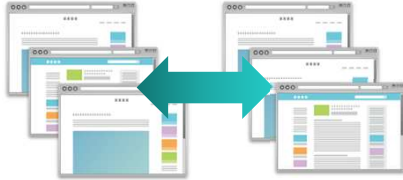
WinActor技術者・コンサルタントが
導入、推進から保守まで
徹底サポートするメニューを
ご用意しています。

お問い合わせは… <http://www.nttcom.co.jp/rpa/winactor/>

利用イメージ

WinActorは、従来人の手で行っていた ①外部システムと基幹システムの連携、②定型文書へのデータ反映、③大量データの投入に至るまで、さまざまな業務処理に組み込むことが可能なツールです。

1 システム間連携



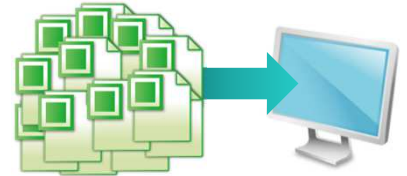
外部Webシステムからデータ取得し、自社システムへ登録するなど、これまでインターフェースがなく手作業でデータをやり取りしていた業務を自動化します。

2 定型文書作成



週次報告書作成や伝票作成など、基幹システムに登録されているデータから帳票を作成する業務を自動化します。

3 大量データ投入



大量データを自社システムへ登録することはもちろん、結果をメール通知するなど、一連の業務を自動化します。

導入事例

事例1 売上管理データから週次報告書を自動作成

導入部署：経営管理部門

概要：基幹システムに登録されている売上管理データから、店舗・部署ごとの週次報告書を自動作成。

導入効果：データ入力する社員の稼働を98%削減。

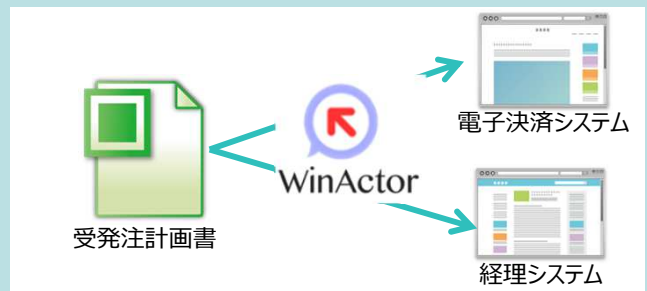


事例2 受発注計画書データを複数の社内システムへ自動入力

導入部署：営業担当部門

概要：受発注計画書（1ファイル）から電子決済システムと経理システム（2システム）に必要な情報だけを抜き出して自動入力。

導入効果：データ入力稼働を95%削減。



※商品およびサービスの内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 ※「WinActor」、「WinActor」ロゴは、NTTアドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。
 ※Windows、IE(Internet Explorer)、Microsoft OfficeおよびExcel、Word、Outlookは、米国Microsoft及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
 ※その他、記載されている社名、商品名などは各社の商標または登録商標である場合があります。

NTTコムウェア株式会社
 〒108-8019 東京都港区港南1-9-1
 NTT品川TWINSアネックス